



# 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニッセンホールディングス  
 コード番号 8248 URL <http://www.nissen.info/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO兼財務本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 佐村 信哉  
 (氏名) 石畑 成人  
 配当支払開始予定日

TEL 075-682-2041  
 平成25年9月9日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成24年12月21日～平成25年6月20日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	102,546	46.2	△1,676	—	△1,230	—	△1,169	—
24年12月期第2四半期	70,141	1.1	879	△46.1	1,345	△24.7	1,139	△6.0

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 △452百万円 (—%) 24年12月期第2四半期 1,191百万円 (△0.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	△19.27	—
24年12月期第2四半期	20.15	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	101,292	28,597	28.2
24年12月期	105,866	29,434	27.8

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 28,587百万円 24年12月期 29,403百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年12月期	—	5.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成25年12月期の期末配当予想額については未定であります。

## 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成24年12月21日～平成25年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,300	13.4	△2,800	—	△2,600	—	△2,700	—	△44.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	63,473,832 株	24年12月期	63,473,832 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	2,797,707 株	24年12月期	2,797,459 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	60,676,252 株	24年12月期2Q	56,532,860 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) その他の注記事項 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年12月21日～平成25年6月20日、以下「当第2四半期」）における我が国経済は、新政権による経済対策・金融政策の効果により円安が進行し、株価も上昇するなど、輸出関連企業を中心に景気は着実に持ち直しの動きが見られるものの、欧州財政問題の長期化や海外経済の下振れ懸念は依然として存在し、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループでは、新たなるニッセングループ中期経営計画「Nissen Vision 50」に基づき、成長戦略の5つの柱である顧客支持ナンバーワン戦略・次世代One-to-One戦略・バリューリーダーMD戦略・オープンユーザビリティ戦略・M&A+アライアンス戦略に基づき、将来的に大きく飛躍できる企業グループを目指し鋭意取り組みを進めてまいりました。

当第2四半期では、株式会社ニッセンにおきまして、Q S C (Quality商品品質、Serviceサービス品質、Clearness分かりやすさ)活動による事業や商品・サービス品質の向上に継続して取り組みを行い、ご利用者数3,000万人突破を記念しましてインターネット注文金額3,900円以上での送料無料キャンペーン（平成25年1月9日～平成25年12月31日までの期間）の実施による配送関連サービスの強化や、株式会社Tポイント・ジャパンとの戦略アライアンスによるデータベース強化に向けて、同社が運営・提供するTポイントサービスの導入準備を推進し、さらには拡張現実（以下「AR」）技術を用いたARアプリ「カタログカメラ」をKDDI株式会社と共同開発し、2013年春号より総合カタログの全ページをAR対応化いたしました。また、前期の途中で完全子会社となったシャディ株式会社については、株式会社ニッセンとのシナジーの実現を着実に進めております。今後につきましても、中期経営計画を達成するために成長戦略5つの柱に沿った様々な取り組みを展開し、常にお客様の立場に立ち、個々のお客様にとってのベストセレクションを最適な環境で提供して“ちょっといいな”をお届けしてまいります。

当社グループの主力事業であるコマース事業におきましては、株式会社ニッセンにおいて、2013年の重点課題であるQ S C (Quality商品品質、Serviceサービス品質、Clearness分かりやすさ)向上を継続する中で受注取消や廃番、返品等の減少に伴い受注比売上率は改善傾向にあるものの、販促効率の改善に向け新規顧客獲得を中心にプロモーションコストを抑制したことで稼働客数が減少、また気候の変化に合わせて必要な時に必要なものを購入する実需指向が進んだマーケット環境の中、カタログ発行時の季節感のズレも加わり、既存顧客からの受注も伸びず減収となりました。一方で、シャディ関連連結3社（シャディ株式会社及び同社の100%子会社である株式会社エニシル、スリーハート・コーポレーション株式会社、以下「シャディ関連連結3社」）。シャディ関連連結3社の業績の連結対象期間「平成24年10月1日から平成25年3月31日」の売上を連結していることによりコマース事業全体としては、前第2四半期連結累計期間（平成23年12月21日～平成24年6月20日、以下「前年同期」）より増収となりました。

利益面につきましては、株式会社ニッセンにおいて減収による利益の減少に加え、円安による関税などの輸入関連コストや仕入コストの増加による原価率の悪化が利益を押し下げる要因となり営業赤字となりました。また、シャディ関連連結3社においても、基幹システム入替によるトラブルの影響が、販売ピーク時のお歳暮商戦時に発生したことや今年1月～3月の売上回復不足により粗利益が減少したことで営業赤字となり、セグメント損益は前年同期の実績を下回りました。

ファイナンス事業におきましては、連結子会社である株式会社ニッセンライフにおいて、提案する商品ラインナップや対面希望者に対する訪問コンサルを強化したこと等により新規顧客獲得は順調に推移、包括移転した旧共済契約ポートフォリオからの収入が未計上のため、売上高、営業利益とも前年同期の実績を下回ったものの、当第2四半期での黒字化を達成しております。また、持分法適用関連会社のニッセン・ジー・イー・クレジット株式会社においては、過払返還請求は順調に減少しているものの、過払返還請求引当金の取り崩し額が昨年よりも少なかったこと等により持分法による投資利益は前年同期の実績を下回り、ファイナンス事業のセグメント利益は前年同期の実績を下回りました。

その他事業におきましては、平成24年7月に株式会社ニッセンシェイプファウンデーションの全株式を売却し、同社が連結対象外になったこと等により売上高は前年同期の実績を下回りましたが、宝飾事業の連結対象会社2社の業績が順調に推移したため、セグメント利益は前年同期の実績を上回りました。

その他全社関連としましては、資産の効率化及び財務体質の健全化を目的として投資有価証券の一部を売却したことにより、投資有価証券売却益516百万円を特別利益として計上した一方で、当社の主力事業会社である株式会社ニッセンの業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産588百万円の全部を取崩し、法人税等調整額を税金費用として計上しております。

以上の結果、当第2四半期における連結業績は、売上高102,546百万円（対前年同期増減率46.2%増 32,405百万円増加）、営業損失1,676百万円（前年同期四半期営業利益879百万円）、経常損失1,230百万円（前年同期四半期経常利益1,345百万円）、四半期純損失1,169百万円（前年同期四半期純利益1,139百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比4,573百万円減少し、101,292百万円となりました。これは主にたな卸資産、現金及び預金の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比3,737百万円減少し、72,694百万円となりました。これは主にリース債務の増加に対し、短期借入金、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比836百万円減少し、28,597百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加に対し、利益剰余金の減少によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、1,348百万円減少し、5,827百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、76百万円（前年同期は56百万円の減少）となりました。主たる増加要因は、たな卸資産の減少額2,416百万円、減価償却費1,870百万円などであり、一方、仕入債務の減少額2,223百万円、税金等調整前四半期純損失729百万円、売上債権の増加額701百万円などが主な減少要因であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、4,177百万円（前年同期は12,117百万円の減少）となりました。主たる増加要因は、固定資産の売却による収入4,711百万円などであり、

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、5,617百万円（前年同期は16,150百万円の増加）となりました。主たる減少要因は、短期借入金の減少額4,680百万円、長期借入金の返済による支出1,747百万円などであり、一方、長期借入れによる収入2,400百万円などが主な増加要因であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年7月5日付「第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正、投資有価証券売却益（特別利益）の計上及び繰延税金資産の取崩し、配当予想の修正並びに役員報酬減額に関するお知らせ」で発表した数値から変更はございません。業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績につきましては、当社及び当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートの変動などの様々な要因により本資料発表日現在の見通しとは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,176	5,827
受取手形及び売掛金	17,268	18,217
たな卸資産	20,163	17,729
前払費用	7,081	6,265
未収入金	9,158	8,981
為替予約	427	676
その他	1,695	1,267
貸倒引当金	△562	△515
流動資産合計	62,407	58,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,448	13,960
その他(純額)	11,240	10,878
有形固定資産合計	25,689	24,838
無形固定資産		
のれん	805	756
その他	8,634	8,145
無形固定資産合計	9,439	8,902
投資その他の資産		
投資有価証券	6,521	7,151
その他	2,698	2,826
貸倒引当金	△890	△877
投資その他の資産合計	8,329	9,100
固定資産合計	43,458	42,841
資産合計	105,866	101,292
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,101	28,004
短期借入金	10,456	6,189
未払金	7,526	6,574
未払法人税等	277	289
返品調整引当金	193	210
返品破損引当金	34	34
事業整理損失引当金	69	69
その他	6,644	8,039
流動負債合計	56,303	49,411
固定負債		
長期借入金	13,539	13,778
リース債務	3,493	6,236
退職給付引当金	1,541	1,585
その他の引当金	19	—
資産除去債務	293	291
その他	1,241	1,389
固定負債合計	20,128	23,282
負債合計	76,431	72,694

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,218	11,218
資本剰余金	11,240	11,240
利益剰余金	7,613	6,080
自己株式	△922	△922
株主資本合計	29,149	27,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	561
繰延ヘッジ損益	258	409
その他の包括利益累計額合計	254	971
新株予約権	30	10
純資産合計	29,434	28,597
負債純資産合計	105,866	101,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月21日 至平成24年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月21日 至平成25年6月20日)
売上高	70,141	102,546
売上原価	33,185	62,895
売上総利益	36,955	39,651
返品調整引当金繰入額	276	204
返品調整引当金戻入額	249	172
差引売上総利益	36,928	39,620
販売費及び一般管理費	※ 36,048	※ 41,296
営業利益又は営業損失(△)	879	△1,676
営業外収益		
受取利息	12	4
受取配当金	28	62
受取手数料	41	41
持分法による投資利益	435	334
雑収入	131	245
営業外収益合計	648	687
営業外費用		
支払利息	148	165
雑損失	35	77
営業外費用合計	183	242
経常利益又は経常損失(△)	1,345	△1,230
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	—	516
新株予約権戻入益	0	34
負ののれん発生益	216	—
特別利益合計	216	553
特別損失		
固定資産除売却損	12	21
投資有価証券評価損	41	30
事業撤退損	84	—
特別損失合計	137	52
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,424	△729
法人税、住民税及び事業税	138	194
法人税等調整額	147	245
法人税等合計	285	439
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,139	△1,169
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,139	△1,169



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月21日 至平成24年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月21日 至平成25年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,139	△1,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	566
繰延ヘッジ損益	23	150
その他の包括利益合計	52	716
四半期包括利益	1,191	△452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,191	△452
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月21日 至平成24年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月21日 至平成25年6月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,424	△729
減価償却費	1,238	1,870
のれん償却額	48	48
貸倒引当金の増減額(△は減少)	55	△61
返品調整引当金の増減額(△は減少)	21	17
返品破損引当金の増減額(△は減少)	1	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	—	44
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△40	△66
支払利息	148	165
固定資産除売却損益(△は益)	12	19
持分法による投資損益(△は益)	△435	△334
投資有価証券評価損益(△は益)	41	30
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△516
負ののれん発生益	△216	—
事業撤退損失	84	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,366	△701
たな卸資産の増減額(△は増加)	254	2,416
仕入債務の増減額(△は減少)	△222	△2,223
差入保証金の増減額(△は増加)	△101	24
その他	△7	356
小計	△60	359
利息及び配当金の受取額	17	8
利息の支払額	△133	△161
法人税等の還付額	166	52
法人税等の支払額	△46	△182
営業活動によるキャッシュ・フロー	△56	76
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△448	△1,097
固定資産の売却による収入	—	4,711
投資有価証券の取得による支出	△10	△54
投資有価証券の売却による収入	10	578
貸付けによる支出	—	△174
貸付金の回収による収入	—	37
子会社株式の取得による支出	—	△151
子会社株式の払戻による収入	—	332
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△11,668	—
その他	—	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,117	4,177

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月21日 至 平成24年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月21日 至 平成25年6月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	5,924	△4,680
長期借入れによる収入	8,000	2,400
長期借入金の返済による支出	△1,571	△1,747
リース債務の返済による支出	△463	△1,226
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	4,566	—
配当金の支払額	△304	△364
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,150	△5,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,986	△1,348
現金及び現金同等物の期首残高	5,100	7,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,086	5,827

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年12月21日 至 平成24年6月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コマース事業	ファイナンス 事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,628	949	2,563	70,141	—	70,141
セグメント間の内部売上高 又は振替高	105	—	2	108	△108	—
計	66,734	949	2,565	70,249	△108	70,141
セグメント利益	1,132	561	12	1,706	△360	1,345

- (注) 1 セグメント利益の調整額△360百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△360百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
- 3 新たに連結の範囲に含めた子会社のみなし取得日を子会社の決算日である平成24年3月31日とし、四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないため、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、シャディ株式会社の発行済株式全てを取得し、同社及び同社の子会社2社を連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「コマース事業」において、38,063百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、「通販事業」、「金融事業」、「現販事業」を報告セグメントとしておりましたが、当第2四半期連結会計期間より、「コマース事業」、「ファイナンス事業」、「その他事業」に変更しております。

この変更は、平成24年3月30日にシャディ株式会社の発行済株式全てを取得し、同社及び同社の子会社2社を連結の範囲に含めたことで、当社グループに新たな事業が加わったため、報告セグメントの見直しを行ったものであります。

「コマース事業」は、従来の「通販事業」にシャディ株式会社及び同社の子会社2社を加え、カタログ媒体やオンラインショップを通じ、主に衣料品・生活関連用品の通信販売事業及び店舗や各種メディア（カタログ、インターネット、モバイル等）を組み合わせた「有店舗メディアミックス型ビジネスモデル」でギフト用品の販売、卸売等を行っております。

また、従来の「金融事業」については「ファイナンス事業」へ、「現販事業」については「その他事業」へ変更しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「コマース事業」セグメントにおいて、シャディ株式会社の発行済株式全てを取得し、同社及び同社の子会社2社を連結子会社としました。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては216百万円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年12月21日 至 平成25年6月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コマース事業	ファイナンス 事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	99,794	818	1,934	102,546	—	102,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72	—	10	82	△82	—
計	99,866	818	1,944	102,629	△82	102,546
セグメント利益又は損失(△)	△1,386	394	23	△967	△262	△1,230

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△262百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△262百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) その他の注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月21日 至 平成24年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月21日 至 平成25年6月20日)
広告宣伝費	12,176百万円	10,403百万円
運賃及び荷造費	5,768百万円	7,931百万円
給料	5,046百万円	6,702百万円
販売促進費	3,958百万円	4,271百万円
支払手数料	2,616百万円	3,108百万円
貸倒引当金繰入額	194百万円	204百万円
退職給付費用	63百万円	146百万円